

第11期 (2024年度)

ジャーナリズム公開講座(全13回)

第5回 7月22日(月) 18:30~20:30

ジャーナリズムは持続可能か 働き方とジェンダーの視点から

SNSの台頭などメディアが多様化する中、労働力の面でも、新聞やテレビといったレガシーメディアの土台が揺らいでいます。約20年勤めた全国紙を辞めて広島市でフリーになった女性記者が、自身の経験も交え、ジャーナリズムの現在地について語ります。

フリーランス記者 宮崎園子



【講師略歴】1977年広島県生まれ。育ちは香港、米国、東京など。慶應義塾大学卒。金融機関勤務を経て2002年朝日新聞社入社。神戸総局、広島総局、大阪本社社会部、生活文化部で警察・司法、災害、原爆・戦争、社会福祉などを担当。2021年7月退社。小学生2人を育てながら取材・執筆活動を行っている。著書に『「個」のひろしま 被爆者 岡田恵美子の生涯』（西日本出版社、2022年第28回平和・協同ジャーナリスト基金賞奨励賞）。

申込方法(要事前申込/先着)

会場開催 もくせい会館第1会議室

定員 70名 静岡市葵区鷹匠3-6-1



左の二次元コードまたは
下記のホームページから
お申込みください。

●申込期限
7月21日(日)17:00

オンライン配信

定員 200名 Zoom ウェビナー

右の二次元コードまたは下記
のホームページからウェビナー
登録をしてください。登録完了
後に接続方法をご案内します。



●申込期限
7月21日(日)17:00

静岡県立大学グローバル地域センター <https://www.global-center.jp/>

電話: 054-245-5600 E-mail: nishi@u-shizuoka-ken.ac.jp (担当:西)